

## 第22回三重県スポーツ少年団卓球交流大会開催要項

1. 趣 旨 県内スポーツ少年団による日頃の卓球活動の成果を交歓し、少年達の友愛・義務・責任感の精神を養い、少年団相互の県内交流を促進するとともに、少年団活動の充実及び活動の活性化をはかる。
2. 主 催 公益財団法人三重県体育協会 三重県スポーツ少年団 津市スポーツ少年団
3. 後 援 三重県 三重県卓球協会 ヤマト卓球株式会社  
(予定)
4. 期 日 平成25年12月1日(日) 受付：8時30分～ 開会式：9時～
5. 場 所 津市体育館 〒514-0831 津市本町31-1 TEL：059-225-3171
6. 参 加 者 平成25年度三重県スポーツ少年団登録を済ませている者で、心身健康で交歓競技に耐え得る者  
(1) 参加者は必ずスポーツ安全保険等の傷害保険に加入していること。  
(2) 各市町及び各単位団からの出場チーム制限はない。
7. 試合方法とチーム編成  
(1) 日本卓球協会のルールに準じて行う。  
(2) 審判は参加者が交代で行う。(相互審判) その他詳細は別に定める。  
(3) チームは原則同一の単位団所属とし、監督(引率者)1名、選手3～4名で編成する。やむを得ず単位団でチーム編成ができない場合は混成チームも可能とする。また、2名での申込は可能とする。ただし、入賞した場合、表彰の対象とはしません。  
(4) 2シングルス、1ダブルス(1番目にダブルス)の団体戦とし、2点先取で勝敗を決める。  
(5) 中学生の部に小学生が参加することができる。  
(6) 試合はリーグ戦を基本とする。
8. 種 目 (1) 小学生女子団体の部 (2) 小学生男子団体の部  
(3) 中学生女子団体の部 (4) 中学生男子団体の部
9. 参加申込 出場希望団は参加申込書に必要事項を記入し、所属市町スポーツ少年団事務局へ申込を行うこと。各市町事務局は参加申込書を取りまとめるうえ申込総括表を作成し、本部長名により平成25年11月1日(金)までに県スポーツ少年団へ申込を行う。
10. 参加料 1チーム1,000円を申込時に市町スポーツ少年団事務局へ納入すること。市町スポーツ少年団事務局は取りまとめるうえ一括して下記口座へ振り込むこと。

百五銀行平田町駅前支店 普通口座No.609784

こうえきざいだんほうじん みえけんたいいくきょうかい  
公益財団法人 三重県体育協会
11. 傷害補償 参加者はスポーツ安全保険等に加入していることが原則のため、競技中の傷害について応急処置は行うが、後の補償はしない。
12. 表 彰 成績優秀チームに表彰する。
13. 競技運営 三重県スポーツ少年団指導者で行う。ただし、必要に応じて審判員・競技役員には競技団体の応援を求める。
14. その他 (1) 参加者は弁当、水筒及び使用する用具を持参すること。  
(2) 出場単位団に対して代表者用に昼食1名分は本部より支給する。  
(3) 各単位団より当日本部席で運営にあたる役員1名を必ずお願いします。その役員には、謝金及び昼食を準備します。  
なお、運営に当たる役員及び代表者の方は印鑑を必ず持参してください。  
(4) 選手は所属及び氏名を明記したゼッケンを背中につけること。

氏 名

〇〇卓球

(日本卓球協会のゼッケンでも可)

(縦：20cm 横：25cm)

※大会当日の連絡先 運営委員 代表：稲垣俊晴 090-7308-7954

## 第 22 回三重県スポーツ少年団卓球交流大会ルール及び試合方法（団体戦）

### 1. 試合の方法について

- ①試合はリーグ戦又はトーナメントとする。（出場チーム数によって決定する。）
- ②試合 1 1 点先取の 5 ゲームマッチとする。
- ③サーブは 2 本交代とする。
- ④試合は 2 シングルス、1 ダブルス（1 番目にダブルス）の団体戦とし、2 点先取を原則とする。  
※（1）ダブルス、（2）シングルス、（3）シングルスで行う。  
更に 2 番目のシングルスに出場する選手は、ダブルスには出場できない。
- ⑤試合球は（財）日本卓球協会公認 40mm（白）を使用する。
- ⑥チーム編成は開催要項を参照のこと。

### 2. 友好試合について

試合進行状況により友好試合を行うことがある。ただし、友好試合は競技の進行により途中でうち切る場合がある。

### 3. 服装について

- ①競技時の服装は半袖シャツ、ショーツ又はスカートとする。また、室内用シューズを使用すること。なお、団体戦出場チームのユニフォームを統一する必要はない。
- ②各選手はゼッケン（開催要項参照）をユニフォームの背中につけること。

### 4. その他

- ①団体戦において競技運営上、同一チームが 2 面のコートで試合を行うこともある。
- ②競技者は相手に対して競技中、監督・選手に影響を与え、ゲームの評判を落とすような癖や態度は慎み、常にフェアプレーに徹するよう努めなければならない。
- ③観客及び応援者は競技中、監督・選手に影響を与えるような応援をしてはならない。従って応援中は拍手のみとし、声援はしないこと。また、写真撮影のためのフラッシュを用いることは選手に影響を与えるので禁止する。これらの応援や行為に対しては審判長が積極的に注意する。監督は選手・関係者にこれを徹底させること。
- ④ベンチコーチは監督 1 名とする。
- ⑤試合当日団員が欠席となり、チームが 3 名以下となった場合の対応方法は、大会当日の監督会議及び対戦チームの監督と協議のうえ、決定する。